

は第1表に示す通りである。

又最近の躍進的な復興に伴い近代化せる再建完成工場の施設及び其の生産状況は第2表の如く示される。

最後に特記すべきは1948年に設立せる Instituto Siderurgico "Finsider" の活潑なる運営によつて行われている製鋼専門技術者の画期的養成、技術研究委員会の実施、充実せる海外文献の統一的整備等がイタリー冶金工業の発展に多大の寄与をしいる事である。

第 1 表

項 目	100%ガス	80%ガス 20%オイル
熔 解 数	611	609
平均熔解量	34t	33.9t
全生産量	20,762t	20,654t
1回の熔解時間	6hr 18min	5hr 48min
1時間當りの生産量	5.4t	5.8t

第 2 表

工 場 (所在地)	施 設 (再建のもの)	生 産 状 況 (年産)
Bagnoli 工場 (Naple の近在)	60t 平爐: 4基, 鹽基性30t ベッセマー 轉爐: 4基, 分塊ロール機: 1基, ビレッ トロール機: 1基, 連続壓延機: 1基	銑鐵: 440,000t 鋼材: 400,000t
Piombino 工場 (Rome と Genoa の中間)	150t 平爐: 3基, 45in 新型分塊ロール 機: 1基, 最新型條鋼ロール機: 1基	銑鐵: 275,000t 鋼材: 300,000t
Cornigliano 工場 (Genoa)	600t 熔鑄爐: 2基, 200t 平爐: 5基, 2 段逆轉式壓延機: 1基, ユニバーサル 壓延機: 1基, 4 段鋸用壓延機: 1基 4 段連続熱間壓延機: 6基	銑鐵: 475,000t 鋼材: 650,000t

(谷 昌博)

抄 録 募 集

抄録原稿の手持が手薄となりましたので奮つて御寄稿下さい (薄謝進呈)

執筆要領は毎號掲轉の抄録欄を参照して頂き一題につき 400 字詰原稿用紙3枚程度に明瞭にお書き願います。

尚、原稿用紙は必ず 400 字詰のものを御使用願います。協會に所定の原稿用紙がありますので御請求次第お願ひ致します (一冊 30 枚綴 30 圓)